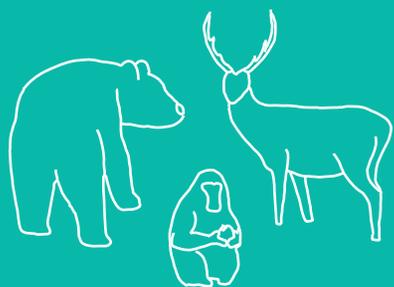


野生動物管理における社会科学的研究を考える

～現場とアカデミアをつなぐには～



2.23.(日)

13:30-16:20

オンライン(先着100名・google meet)
参加費無料
要参加申込：右下QRコードより

野生生物によって生じる問題を解決するために、「社会科学」の重要性が認識されています。今回は、そうした「社会科学」の多様性に触れ、「どう研究としてまとめるのか」や「どう実際の現場に活かすことができるのか」を野生生物に関連する社会科学分野、とりわけ質的研究を実践してきた3名の方から話題提供いただき、考えたいと思います。

スケジュール & 話題提供

- 13:30-14:00 趣旨説明
伊藤泰幹 北海道大学文学院博士課程
- 14:00-14:30 野生動物管理への社会科学的手法の使い方
～アクションリサーチ、プログラム評価、質的研究方法～
山端直人氏 兵庫県立大学
- 14:30-15:00 政策過程論による野生動物管理研究の新展開
古賀達也氏 森林総合研究所
- 15:20-15:50 現場で起きていることを『聴く』
～環境社会学が調査し続けてきたこと
富田涼都氏 静岡大学
- 15:50-16:30 まとめ&クロージング
コメント
梶光一氏 兵庫県森林動物研究センター

参加申込はこちら
(google form)



主催：「野生生物と社会」青年部会
実行委員：伊藤泰幹・古賀達也・高畑優